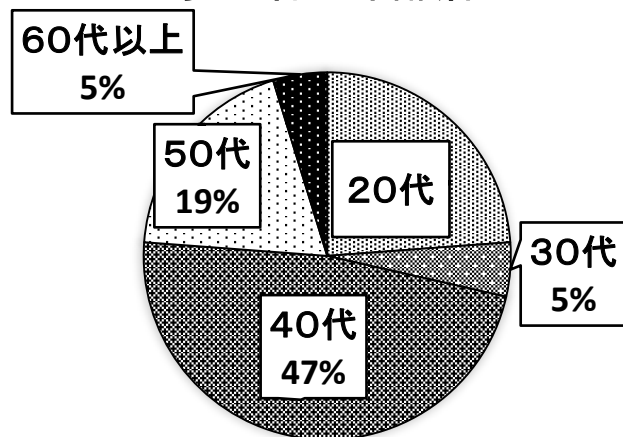
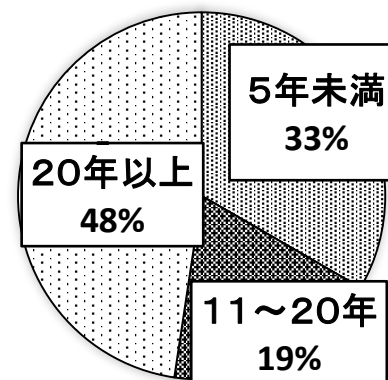


令和2年(2020年)度北海道高等学校国語教育研究会オンラインセミナー参加者アンケート結果

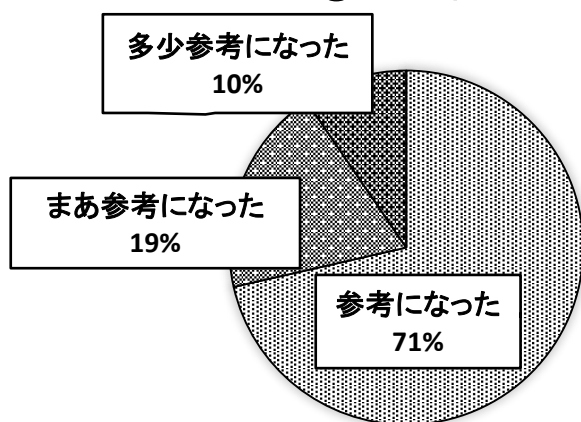
参加者の年齢層



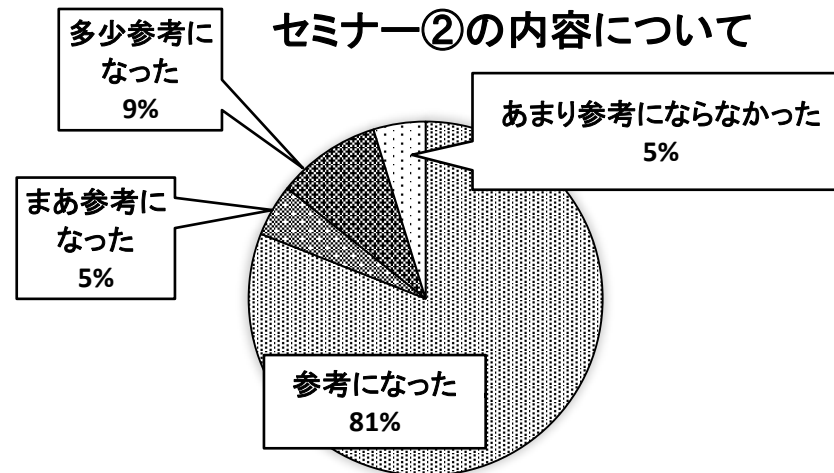
参加者の教職経験年数



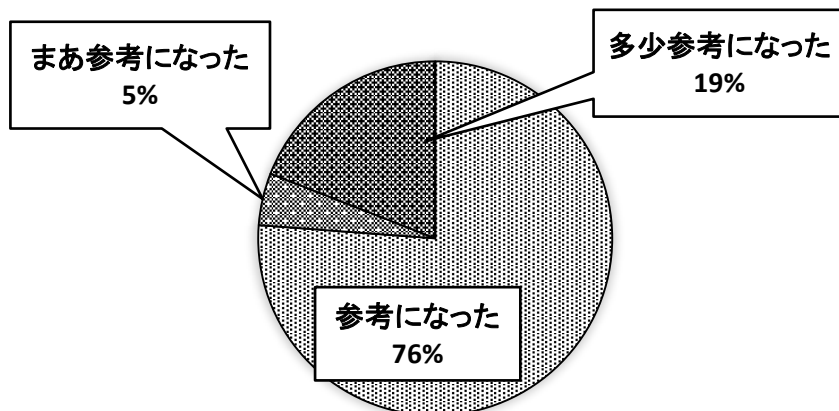
セミナー①の内容について



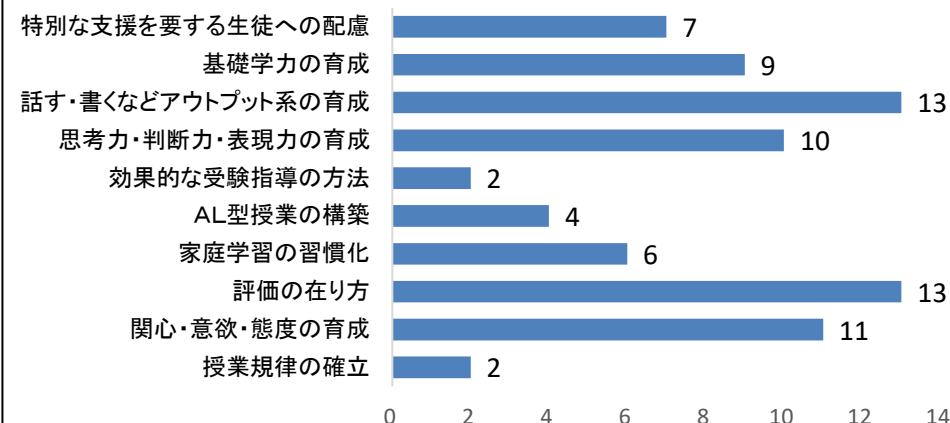
セミナー②の内容について



セミナー③の内容について



日々の授業での課題



《セミナー①への感想（自由記述）》

- ・ 太田先生、先駆的な実践のノウハウをありがとうございました。
- ・ 実際の授業の様子も体験でき、大変参考になりました。ご準備いただきお礼申し上げます。ご質問を申し上げます。今回の取組は、緊急事態の中での授業と考えますが、今後、新型コロナに関係なく、ICTを活用した授業を実施するとした場合、高校国語の「指導内容」において、どのような内容がICTを活用した授業に適しており、逆にどのような内容であると適していないとお考えかご教示いただけませんか。
- ・ 実際に運用する時にどのようなことに気を配ればよいかなどを教えていただき、大変参考になりました。自分でも運用できるように検討してみたいと思います。ありがとうございました。
- ・ トラブルもオンライン授業の実際であることを学びました。画面表示上の注意点など、経験者ならではの視点がためになりました。
- ・ 双方向のオンライン授業の楽しさと難しさを感じました。パッケージされた授業動画との比較を考えたり、今までにない思考の種をいただきました。
- ・ オンライン・ライブ授業の実際を体験でき、大変勉強になりました。
- ・ 同じ時間に集まる形態ならば、双方向など生徒たちが集まる必要がある設計である必要があると思います。単方向の授業ならば動画配信の利便性（いつ視聴するか自由度、速度を変える、複数回視聴など）には勝てないのではないのでしょうか。もしかしたら、授業である以上、同じ時間に集まらなければならないのかもしれませんが、それすらも超克していかないとオンラインがかえって生徒を縛ることになりかねないような気がしています。
- ・ オンライン環境での授業実践について今後の参考になりました。また、オンラインだけでなく教室での授業においても、板書の扱いや生徒の反応の取り方

など、活用できる場面が想定でき、活かしたいと思いました。

- ・事前に機器の準備を万全にしても、実際に機器の不具合が起きることに ICT の難しさを感じた。
- ・手稲高校さんでのオンライン授業の実際がよく分かりました。やってみることでいろいろ課題が見え、どんどん改善されていった経緯も分かりました。途中機器について説明いただいたせいで機器に不具合が生じましたが、様子が分かって良かったです。臨時休業当初から、生徒の学びを止めない取組をしてくださったことに対して感心いたしました。
- ・生徒側の反応はどんな方法で受け止めたのですか。一方的な講義授業になりませんでしたか。
- ・オンラインでの授業のイメージが明確になりました。

《セミナー②への感想（自由記述）》

- ・塩谷先生の言葉の中で印象的だったものは「誰にも覚えがあるが、気づかなかった発見を言語化」です。
- ・小論文の課題に向き合ったときに、生徒がどのように考えるか。思考の順に文章を作っていけばよいということを聞き、自分の考え方の裏付けをいただいた気がして、励みになりました。ありがとうございました。
- ・小論文や作文でも、オンラインや対面授業でも、「人」が大切であることを再認識しました。ありがとうございました。
- ・授業動画について考えていたこともあり、生徒個々に合わせられる教師というのが、今日の研修でのキラーフレーズでした。いつも先生のご本を傍らに学んでいます。ありがとうございました。
- ・実感を客観性をもって言語化させること。国語科の役目として今一番意識しているところです。
- ・長年の実践に基づく指導法は説得力があり、明日から役立つと思いました。
- ・授業で小論文実践を行なっていて進め方に悩んでいたため、非常に助かりました。
- ・塩谷先生の講義を拝聴することができ、本当にうれしかったです。先生の愛情深く説得力あるご指導を見習って少しでも近づけるよう、日々取り組みたいと思います。
- ・小論文指導は、言葉を教える我々国語教師にとって難しいものだと感じます。しかし、生徒が小論文に取り組むことによって主体的・対話的で深い学びを実現できるものと考えます。今後の塩谷先生の取組に注目しています。
- ・小論文の指導で、日頃悩んでいたことが、スッキリと整理されました。大変参考になりました。
- ・どのように添削されているのかも知りたかったです。
- ・小論文の指導は苦手だったのですが、講座を受けて、あの型を利用して教えてみたくなりました。ありがとうございました。

《オンラインセミナー③への感想（自由記述）》

- ・ ICT 教育は目的ではなく手段だという長澤先生の考えに共感します。
- ・ 皆さんで、知恵を出し合うこと、賛成です。コロナで顕在化した諸問題の一覧すばらしいものでした。
- ・ ご指導いただき、ありがとうございました。ご指導のようすから、生徒の学習上の負担が大きいのと思いました。事前指導や、他教科他科目との連携の状況、心身のケアなどについて知りたかったです。
- ・ slack や padlet といったツールを使う、ということ自体を知らなかったもので、こうした手段を使った双方向なやり取りについて、もっと深く学んでみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 生徒に表現させるためのさまざまな方法を学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・ 生徒がいきいきとスマホを活用して授業に集中する姿が目に見えました。文字を書くより入力の方が身近でやりやすいのだろうとも感じました。スマホで遊んでしまう生徒についてどのように対策されていたのか気になりました。まだまだお話を伺いたかったです。
- ・ 近年の国語教育における指導方法の大きな変化に驚きと衝撃を受けました。
- ・ 主題単元での授業をまだ行なったことがなく、教科書の教材を扱いつつ単元で様々な教材に触れることができる単元学習のあり方を取り入れてみたいと思いました。
- ・ 長澤先生の数多くの取り組みに感銘を受けました。本当に熱心に日々ご指導されていることが良く分かりました。また、実際の資料なども公開してくださり、すぐに実践に取り入れることができました。
- ・ 長澤先生は教科書以外から様々な教材を見つけて授業に使っていらっしゃるの、他の先生方と連携しようとなさっているのは、良いことだと感じました。若い先生の中で、言葉を教えるために、教科書以外の教材を使いたいと考えている方もいらっしゃいますが、どのように教材を探せばよいか苦心しているようです。連携していただければ国語科全体のレベルアップにつながると思います。
- ・ 長澤先生の取り組みにはいつも刺激をうけます。もっと勉強しなければという気持ちになります。
- ・ 先生の熱意に頭が下がりました。今後評価とどう結びつけていくのかまで知りたかったです。
- ・ 新しい授業の方法を知れてよかったです。ありがとうございました。

《本セミナーに参加した目的》

- ・ 小論文指導に生かすため。
- ・ 授業改善のため
- ・ 日々業務に追われる日常を離れ、さまざまな取り組みをしている先生方から学ぶため。

- ・リモートの良さを知ること
- ・自己研鑽のため。
- ・Zoom というものの活用の可能性を考える機会になると思ったから。
- ・国語科教育法について、学び続けるため。人との繋がりを作るため。
- ・例年研鑽のため参加したいと思っていましたが、遠距離で子供に手がかかる時期でもあり二の足を踏んでいました。オンラインで開催されたおかげで初めて参加できました。すばらしい時間でした。連休があげたら学校で改めて復習したいと思います。またぜひよろしくお願いいたします。
- ・塩谷先生の講義を拝聴したかったため。
- ・これまでの実践を振り返るとともに、次世代の国語教育を学びたいと思ったから。
- ・自らの技術向上のため
- ・小論文指導について学びたかったため。
- ・講座を受けるため
- ・遠隔研修の在り方を学びたかった。
- ・先生方の取り組みに刺激を受けたかったため。
- ・先生方の日頃の実践を他の先生方にもお伝えできればと思ったからです。
- ・国語の授業で ICT を活用することの模索のため。
- ・授業の配信を皆さんがどのように実践されているのかを学びたかったからです。
- ・案内を拝見して、講座内容に興味を持ったことと、初任なので授業に関する色々な情報を集めたいと思ったからです。
- ・経験年数が少なく、自己研鑽の場所を求めていたが、場所的、状況的な問題でなかなか研修に参加できていなかったため。

《準備及び当日運営についての意見》

- ・お忙しい中、準備、運営、ありがとうございました。
- ・講師の先生はもちろん、画面に映らなかったスタッフの皆様、ありがとうございました。
- ・運営及び講師の先生方お疲れさまでした。
- ・関係の方々に感謝申し上げます。それぞれのご発表から、多くのことを学ぶことができました。
- ・開催が連休の中日では先生方が参加しにくいと思いました。皆様のご都合もございましょうが、参加者を増やすためにも、次回はご検討をお願いします。
- ・今回、各学校あてに、文書にてご案内いただき、会費登録、会費納入などについてご説明がありました。本日はオンラインとはいえ、正規のセミナーでし

たので、開会式をおこなっていただき、直接お話をしていただき良かったです。

- ・トラブルはたくさんありましたが、運営の方や参加者のヘルプにより、問題なかったと思いました。かえって臨場感があり（トラブルがあのように起こるという実例を示す意味で）、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・休日の中、発表者や運営スタッフの皆さま、ありがとうございました。
- ・新しい研修の1つのスタイルができたと思います。
- ・過去にないことで大変だったと思います。事前資料など、細かな心遣いが非常にありがたかったです。
- ・開会式後の空き時間がもったいないと思いました。画面の前での待機は研修会場や教室よりもはるかに退屈です。子どもならば端末の前からいなくなると思います。
- ・空き時間がもったいないと思いました。
- ・セミナー③のあとに、一度閉会式を行い締めた方が良い。その後は炉辺談話的にしても良かった。
- ・新しい形での実施の中、参加者の皆様の活発なチャットでの意見交流もあり、皆さまが、よい研修にしようという前向きで協力的な姿勢があり、良かったと思います。事務局の先生方、ありがとうございました。
- ・準備お疲れさまでした。ありがとうございます。
- ・セミナー3で、iPadでは見られない資料があったのが残念でした。
- ・参加者全員顔を出して意見交流する機会があればより学びが深まったのではないかと感じた。

《本研究会をより活性化させたり、参加者が多くなるようなアイデアについて》

- ・会員の口コミ、ネットワークを広げていくこと
- ・大学生や大学院生にも参加を呼びかけてはいかがでしょうか。
- ・時間節約のためにも、「講演要旨」を事前に配付し、参加者からの質問も事前にいただけると、講師のご発表も、より焦点化されると思いました。
- ・このような形式であれば、もっと小規模な定例会としても運用できますね。地方の国語科管内研では学校同士が遠いこともあり、このような実施方法を取れば、もっと参加者も見込めるのでは？ 可能性をたくさん感じました。
- ・また、高国研が本来の実施形態に復帰したとしても、今回のように3講座程度をオンラインで実施すれば、会場に足を運べない方にも参加していただけたと思います。また、講座内容を動画配信すれば、リアルタイムで参加できない人にも研修の機会を与えることができると思います。
- ・今後も高国研が発展していくことを願っています。運営の皆さん、講師の先生方、本当にありがとうございました。
- ・北海道の広域性を考えると、研修会のライブ配信などがあっても良いのではないかと、今日のセミナーに参加して思いました。

- ・オンラインと会場の同時開催。オンラインの内容をアーカイブ化してホームページに残す。部活などで参加できない教員にも学びの機会があればありがたいです。
- ・リフレクションの時間を設けてから、質疑を受け付けてはどうでしょうか。アウトプットする仕組みがあると先生方が参画する気持ちになりやすいと思いました。みなさん受け身ですよ…
- ・講義後の、意見交流の時間がとても有意義だったと感じました。オンラインでの開催で退出が任意だったため残ることができましたが、今後集合形式で開催される機会でも交流の時間があると嬉しいです。
- ・会場が交通の便の良いところだと参加しやすいです。配信授業の実技、技術指導など実践的なものに興味があります。
- ・連絡を頻繁に行う。

《今後、開講を希望する講座内容や講師について》

- ・新教育課程について、大事したいこと共有
- ・年配の先生方との座談会のような講座を希望します。
- ・新学習指導要領に基づく実践例、評価方法
- ・今後は授業改善とともに、観点別学習状況の評価について考えていく講座を入れていくと受講者のニーズに合うのではないのでしょうか。これから、教科指導訪問に参りますので、適任の方がいた際は情報提供いたします。
- ・語彙指導についての講座を希望する。

《その他》

- ・講師の方々がお使いになった資料、チャット記録等を頂戴できれば幸いです。
- ・ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・回線が切れてしまい、突然の退室になってしまい申し訳ありませんでした。端末も不調で文字が打てず（数字は大丈夫でしたが）質問や反応ができなかったことも申し訳なく思っています。離れていても心が通じるすてきな会でした。本当にありがとうございました。
- ・貴会のご発展をお祈りいたします。
- ・この度は、大変参考になりました。説明は ICT で、協議は集合形式で行うという住み分けをすると研修が充実するのではという期待をもつことができました。発表いただいた先生方、運営いただいた先生方、お忙しい中御準備いただきましたこと感謝申し上げます。